

# RyuMIC PROGRAM 2017

## RyuMIC研修医の声

プログラム「ていだ」

しまぶくろ たくや

2年目 島袋 拓也  
No. 3



RyuMICプログラムの大きな魅力の1つとして、研修プログラムを自由に組める点があげられると思います。私は特に、マイナー科への入局を少しでも考えている方にとって、これほど適したプログラムはないと考えています。

私は学生の頃から入局先として耳鼻科を考えており、研修の始めに耳鼻科を回ってみて気持ちが変わらなければ入局を決断するつもりでした。そのため、耳鼻科スタートの研修が可能なRyuMICプログラムを研修先として選択しました。

実際に、1年目の4月から耳鼻科を回ることによって早めに進路を決定することができ、そのおかげで将来耳鼻科医として働くために、後の研修で学ばなければならないことや身に着けなければならないことを具体的にイメージすることができました。また、より多くの症例で手技や術後管理を学びたかった外科や、commonな症例を多く経験したかった小児科は外病院を選択しました。このように、他病院での研修も気軽に行える点もRyuMICの利点の1つだと思います。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目		耳鼻		麻酔			第三内科			救急		第一内科
2年目	第一内科	精神	外科	放射	第三内科	地域医療	小児			耳鼻		

私のように現時点で入局先を絞れていなくとも、マイナー科を候補として考えているなら、例えば何度か回って他の科と比較することができるなど、RyuMICプログラムはやはり研修先として適しているのではないかと思います。

しかし、研修プログラムの自由度の高さは、プログラムの組み方次第では弱点もあり耳鼻科特有の手技や縫合などは身に着きましたが、採血やライン確保などの一般的な手技の経験は他の科を回っている研修医と比べると圧倒的に少ないなど出遅れた面もありました。研修プログラムを組む際に先輩研修医や志望している科の先生などの意見を取り入れたり、研修プログラムは途中で変更したりすることも可能なので、積極的に変更していくと良いと思います。

このようにRyuMICプログラムは、上手に活用することで自分にとって最適な研修を送ることが可能な魅力的な研修システムです。マイナー科を志望している方を始めとして、多くの方にRyuMICプログラムの利点を最大限に利用したよりよい研修を送ってもらえればと思います。

